



神戸医療産業都市

一般公開

講演会

参加無料

事前申し込み不要

医療の最前線、神戸で働く ～神戸医療産業都市で働く魅力～

2019 11.9 (土) 13:00▶16:00

会場 神戸臨床研究情報センター (TRI) 2階 第1研修室

定員 各回150名程度

お気軽にお立ち寄りください!



1



健康の見える化に挑む「健康関数」

13:00
┆
13:30

理化学研究所

健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム
健康計測解析チーム チームリーダー

水野 敬 氏

2



「自分の歯で噛める喜び」-歯髓再生で歯の健康を維持する-

13:35
┆
14:05

アエラスバイオ株式会社

取締役 研究部長

中島 美砂子 氏

3



再生医療を身近にしたい!

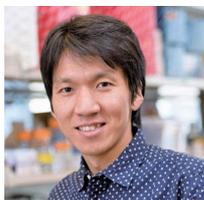
14:10
┆
14:40

株式会社日立製作所

専門理事 研究開発グループ 技師長
基礎研究センタ 日立神戸ラボ長

武田 志津 氏

4



がんの新しい仕組みに迫り創薬を目指す

14:45
┆
15:15

神戸医療産業都市推進機構

先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部 上席研究員

井上 大地 氏

5



世界初の乳がん早期発見技術の実現

15:20
┆
15:50

神戸大学

数理データサイエンスセンター教授

木村 建次郎 氏

※1講演につき30分。各公演終了後、5分間の入れ替え時間を設けています。講演内容の詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

神戸市イベント案内・申込センター
TEL 078-333-3372

主催

神戸市・神戸医療産業都市推進機構・理化学研究所

その他のイベント情報やスケジュールはコチラからチェック!

<https://www.fbri-kobe.org/kbic/ippankoukai/>

内容は直前に変更になる場合がございます。詳細はホームページをご覧ください。



講演詳細

医療の最前線、 神戸で働く

～ 神戸医療産業都市で
働く魅力

神戸医療産業都市で
働く方々に、
それぞれの立場から
神戸医療産業都市での
現在の「仕事」や「研究内容」に
ついて語っていただけます。
今の仕事を選ばれた
きっかけや魅力など、
これまでの経験や
人生観を交えながら
わかりやすくお話し
いただけます。

1 13:00～13:30

健康の見える化に挑む 「健康関数」



理化学研究所

健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム
健康計測解析チーム チームリーダー

水野 敬 氏

国民の47%が慢性疲労、と衝撃的な結果が最近の調査で明らかになりました。慢性疲労は意欲や生産性を低下させてしまうだけでなく、様々な疾病の下地となっています。私たちは「健康「生き活き」羅針盤リサーチコンプレックス」プロジェクトにおいて、慢性疲労研究の知見も活用して「健康の度合い」を数式化するために「健康関数」を開発しました。健康関数を用いて、皆さんが、将来にわたり健康で「生き活き」とした人生を送っていく上での「羅針盤」の提供を目指しています。

2 13:35～14:05

「自分の歯で噛める喜び」

— 歯髄再生で歯の健康を維持する —



アエラスバイオ株式会社

取締役 研究部長

中島 美砂子 氏

歯髄再生治療は、深い虫歯で歯髄(神経)を取り除いた後の歯の内部に、人工物を充填する代わりに歯髄幹細胞を入れて歯髄を蘇らせる全く新しい治療法です。人生100年時代に向けて、長く自分の歯で食を楽しみ、全身の健康につなげる理想を目指して、現在、「国際くらしの医療館・神戸」内で、歯髄再生治療の実用化の研究開発に取り組んでいます。

本講演では、本研究を始めたきっかけや歯髄再生治療の具体的な方法、さらに歯髄幹細胞を用いた再生医療の可能性についてご紹介します。

3 14:10～14:40

再生医療を身近にしたい!



株式会社日立製作所

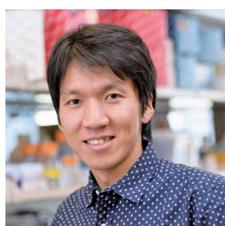
専門理事 研究開発グループ 技師長
基礎研究センタ 日立神戸ラボ長

武田 志津 氏

再生医療は、既存の医療では治療が困難な病気を克服し得る新しい医療として大きな社会的期待を集めています。新しい医療であるため、なお深い学術研究と実用化にむけた幅広い取り組みが必要です。日立製作所は再生医療の実用化と普及に貢献するために、神戸医療産業都市に新たな研究開発拠点として日立神戸ラボを2017年に開設しました。本講演では、再生医療を身近なものにしたいという思いを抱いた企業研究者として、神戸医療産業都市の魅力とここでの活動をご紹介します。

4 14:45～15:15

がんの新しい仕組みに 迫り創薬を目指す



神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター

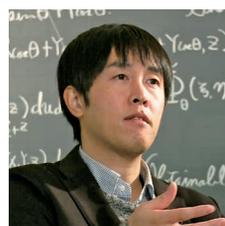
血液・腫瘍研究部 上席研究員

井上 大地 氏

遺伝子の解析技術や創薬の革新的な進歩により、様々ながんでそれぞれの患者さんに合わせた治療法が開発されています。しかし、白血病をはじめとてがんが発症・進行する仕組みはオープンエッションが数多く残されています。まだ解明されていない新しいメカニズムに基づいて治療の標的を見つけ出し、海外研究機関と協力して創薬へとつなげる当研究部の試みについてご紹介します。

5 15:20～15:50

世界初の乳がん 早期発見技術の実現



神戸大学

数理データサイエンスセンター教授

木村 建次郎 氏

現行乳がん検診の世界標準であるX線マンモグラフィが適用できない乳房は、50歳未満アジア人女性の約80%を占め、早期発見に向けた新技術が待望されている。従来技術の課題解決を目指し、我々は、応用数学上の未解決問題を解決、世界初のマイクロ波マンモグラフィの実現に成功した。高感度、痛みなく、無被曝、高い再現性、両胸乳房全体を3次元的撮像等、実用化により被験者のQOL向上に大きな期待が寄せられている。